



お知らせ 募集

女性の就業支援

予告 WEB研修「在宅ワーカー育成セミナー」

女性のための就業支援事業として、在宅ワークセミナーを開催します。在宅ワークの基礎知識や在宅ワークを始めるに当たっての心構え、在宅ワークの種類と必要なスキルなどについて学ぶ初心者対象のセミナーです。

コロナ禍で在宅ワークが注目されている今、ぜひ参加してみませんか！

日時：令和4年7月27日(水)10時～13時

申込み・詳細は右QRコードからご確認ください。

(埼玉県女性キャリアセンター共催事業)



「女性人材リスト」にご登録いただける女性を募集

八潮市では審議会等の委員となってくださる方の人材バンクを作成しています。子育てや仕事がひと段落ついた方、市の施策に興味をお持ちの方など、人材リストへ登録してみませんか。

八潮市の審議会等における女性委員の割合は、令和3年4月1日時点で33% (65審議会273人/828人)。市の政策・方針決定過程の場への女性の参画はまだまだと言えるでしょう。誰もが暮らしやすい地域を創るためには、多様な意見が必要です。

多くの方からの登録をお待ちしています。(登録された方、全てが審議会委員に選考されるものではありません。)登録に関する詳細は、市ホームページをご覧ください。

「男女共同参画推進活動事業」実施団体募集

市では、男女共同参画を推進するイベントや講演会、研修会などを行っていただく市内で活動する団体に、事業に係る経費(上限5万円)をお支払いします。事業の委託には審査が必要です。

詳細は市ホームページからご確認ください。

※メ切8月末日



「地域で豊かに！グループ名簿」登録団体を募集

八潮市では男女が共に地域で活動する場としてサークル活動を応援するため、年1回、会員募集のチラシを作成して、市ホームページへの掲載や市内公共施設への配布を行っています。

現在、掲載いただける団体を募集しています。ご希望の団体は市ホームページから登録用紙をダウンロードし、人権・男女共同参画課まで申請してください。(今年度掲載ご希望の団体は7月末日までにご登録ください。8月以降分は次年度掲載となります。)

八潮市女性相談室

女性相談室は、女性のための相談室です。夫婦のこと、家族のこと、生き方などetc…、お友達には相談し難いこととてありますよね。ひとりで悩まないで相談してみませんか？臨床心理士やカウンセラーの資格を持つ女性相談員があなたの悩みに寄り添います。秘密は守ります。

場所：八潮駅前出張所内相談室
相談日：火・水・木曜日 1日4枠、予約制
①午前10時15分～11時15分
②午前11時30分～12時30分
③午後1時30分～2時30分
④午後2時45分～3時45分
予約：人権・男女共同参画課
048-996-2159

八潮市DV相談支援室

DV相談支援室では、DV(ドメスティック・バイオレンス=夫婦や恋人など親密な関係にあるパートナーからの暴力)に関する相談をお受けしています。DVは、支配する側とされる側の関係性で起き、殴る蹴るなどの身体的暴力の他、暴言や脅迫などの精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力、性行為の強要などの性的暴力など多岐にわたります。これってDV?と感じたら、少しでも早く相談しましょう。

相談専用電話：048-996-3955
相談日：月・金曜日
午前10時～12時、午後1時～4時
※面接相談をご希望の方は、予約が必要です。
予約：人権・男女共同参画課
048-996-2159

男女共同参画苦情処理制度

八潮市では、男女共同参画に関する市の施策や男女共同参画を妨げる事案に対する苦情の申し出を、公平・中立な立場で処理する機関を設置しています。苦情処理委員は弁護士と大学教授の2名で構成され、申し出の内容について調査を行い、その結果、必要があると認めるときは関係者に対し、助言、勧告、是正の要望等を行います。申し出に関する詳細は、市ホームページをご覧ください。



相談室だより

本年度のDV相談への相談件数は昨年より減少傾向にありますが、子どもの相談や自殺の件数は増えているという報告があります。

DVを受けている相談者の方からの話の中に、子どもがDVを受けている母を守ろうとしていたり、家庭の心配をしているという話をよく聞きます。本来大人が担うような責任を引き受けている子どもが増えているように思います。このような、子どもはヤングケアラーと呼ばれています。ヤングケアラーとは、「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行っている18

歳未満の子ども」のことをいいます。

DV被害者の方から、「自分が我慢をすればよい」という言葉をよく聞きますが、母が我慢していると、子どもがヤングケアラーになることもあります。

「ではどうすればよいのか?」と悩んでいる方、実際に解決策を出していくのはとても難しいことだと思いますし、こうしたらよいという答えのようなものはありません。私達は、女性が自分のこれまでの生き方を振り返り、これからどうしたいのか、自分自身のことを考えること自体がとても大事だと感じています。一人で悩まずにぜひ相談してください。私達は一緒に考えていきたいと思っています。(相談員)